

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	診察学応用3	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	前期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2 単位		授業形態	講義			
教科書/教材	東洋療法学校協会指定教科書 臨床医学総論						
担当教員情報							
担当教員	笠井 友和			実務経験の有無・職種		有・鍼灸師	
学習目的							
東洋医学的診断法と西洋医学的診断法を学び、適切な施術を施すための判断力を養う。鍼灸施術にとって最も大切な能力は、その患者の状態を正確に把握することである。そのための方法として、東洋・西洋の両方に存在する人体把握の方法を身につけることを目的とする。							
到達目標							
実際に患者の持つ愁訴を理解し、症状の意味を考える。そこから考え得る原因や病名などを推測し、鍼灸適応症例なのか不適応症例なのかを適切に判断できる能力を身に付ける。更に、適応症で有ると推測された場合の治療方針の立て方や予後の予測ができるような知識を身に付けることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	現代医学的な診察法の基本を確認し、鍼灸施術に活かすための診察の基礎を学ぶ。②診察の仕方や評価法を練習し、体得する。③提示された症例をもとに、診察の模擬授業を行い、診察力と対応力を身につける。※授業に臨むにあたり、実習を伴う授業は、予習・復習をすることが大切である。予習をすることによって、授業中にすぐ身体が動くように準備しておくこと、復習することによって、毎回自分なりに振り返りや課題を見つけて、次回へ活かすように取り組む。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	期末試験（筆記試験）				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	四肢の形態異常			四肢の形態異常に関する病態を理解する。			
2回	反射の異常1			簡易な徒手検査で発見できる神経学的異常を理解する。			
3回	反射の異常2			簡易な徒手検査で発見できる神経学的異常を理解する。			
4回	脳神経の異常1			脳神経の異常がどのように症状として現れるかを理解する。			
5回	脳神経の異常2			脳神経の異常がどのように症状として現れるかを理解する。			
6回	脳神経の異常3			脳神経の異常がどのように症状として現れるかを理解する。			
7回	髄膜刺激症状			髄膜の異常がどのように症状として現れるかを理解する。			
8回	運動機能検査1			運動機能検査の種類とその分類についての理解する。			
9回	運動機能検査2			上位運動ニューロンの異常とその症状に関して理解する。			
10回	運動機能検査3			上位運動ニューロンの異常とその症状に関して理解する。			
11回	運動機能検査4			上位運動ニューロンの異常とその症状に関して理解する。			
12回	運動機能検査5			上位運動ニューロンの異常とその症状に関して理解する。			
13回	協調運動の異常			脊髄後索路、小脳の異常とその症状に関して理解する。			
14回	頭痛1			頭痛に関する様々な病態を理解する。			
15回	総合			前期の講義を振り返り、過不足を補い理解を深める。			